

# 各国の政局流动期

毎日新聞

2011年(平成23年)9月14日(水)

## 世界の鼓動

田中 均

講演で秋田県を訪ね、佐竹敬久知事とお話しした。知事の眼が中国、ロシア、韓国、モンゴル、台灣といった日本海を隔てた東アジアを十分見据えていることを感じ、とてもうれしかった。日本の未来はダイナミックに発展する東アジアの活力をどれだけ取り込められるかで決まってくると常々思っている。日本海側の諸都市で東アジアとの交流・交易を具体的に構想されているのは心強い。

秋田は緯度で北朝鮮の平壤とほぼ同じ線上にある。以前「アイリス」という朝鮮半島を題材とした韓国のテレビドラマが日本でも人気を博した。そのロケ地、秋田県の田沢湖は、震災前は韓国からの観光客で賑わったという。「ア

イリス」に登場した北朝鮮の高官は、私自身の北朝鮮との交渉の雰囲気を髪髪とさせ、私にとっても必見のドラマであった。

秋田を訪ねた翌日、日本と韓国の有識者の集まりである日韓フォーラムでソウルに出張した。韓国は明年4月の国政選挙、12月の大統領選に向けて既に国内政治の季節に入ったかのようだ。東アジアの国々は時を同じく政権交代期を迎える。中国では明年国家主席を含む指導者の交代が一斉にある。ロシアや米国では大統領選。北朝鮮の権力承継も山場を迎えるに違いない。はたして関係各國の選挙や指導者交代は北朝鮮問題にどう

## 朝鮮半島情勢は正念場へ

いった影響を与えるだろうか。

北朝鮮は、是々非々で時には対抗保険政策をとる韓国の李明博政権から金大中、盧武鉉政権から金正日政権へと時代のよろんな融和政策に傾きがち

た。しかし、更なる挑発があれば、過去2回の軍事挑発に対し自制して政策を探るだろう。強硬な政策を探る韓国に譲歩するとは考えにくい。場合によっては、軍事的

挑発を含めて朝鮮半島の緊張をあ

おり、「豊かになつた韓国民に『戦争は真っ平』と思わせる行動に出で、韓国国内政局を揺さぶるうとする可能性はある。

た。ただし、更なる挑発があれば、過去2回の軍事挑発に対し自制して政策を探るだろう。強硬な政策を探る韓国に譲歩するとは考えにくい。場合によっては、軍事的

双方を益するものではない。仮に北朝鮮が更なる軍事的挑発に走れば、韓国、米国、日本だけではなく、中国やロシアも確固とした措置を取ることが自明となるならばならない。このことこそが、北朝鮮の緊張に伴う危機管理計画を整備する必要も出てくる。日本では新しい政権が発足した。少なくとも、この地域の国内政治が流動化する今後16カ月間は、日本では安

定的な政権運営で、能動的な外交ができる環境となることを切に願いたい。(たなか・ひとし)日本



画・onyx

内で二国間協議を走らせる必要があると述べてきた。南北、米朝、日朝の二国間協議である。こういう協議がないことには六者協議の中身を与えない。二国間協議は韓国の頭越しであってはならぬ。まず、南北が成果を上げることだが、米朝や日朝協議を進める必須の条件だと考えてきた。

しかし、南北関係が大きな前進をみることはなかった。今や北朝鮮が政権維持のため恐れるのは米国ではなく韓国であるということなのかも知れない。経済的に大きな発展を遂げた韓国との格差はあまりにも大きく、李政権の强硬策に対抗できる力は核しかない。そ

して、韓国の圧力を屈するわけにはいかない。であるなら、南北の进展が無くとも米国や日本は北朝鮮との二国間協議を進めるべきなのだろう。このためには、日米韓の強い連携の確保が必須だ。

いずれにせよ年末までの16カ月間は朝鮮半島情勢の正念場となるだろう。場合によっては朝鮮半島の緊張に伴う危機管理計画を整備する必要も出てくる。日本では

新しい政権が発足した。少なくとも、この地域の国内政治が流動化する今後16カ月間は、日本では安

定的な政権運営で、能動的な外交ができる環境となることを切に願いたい。(たなか・ひとし)日本